

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日: 2022年3月3日

n=34

事業所名: にこにこハウス医療福祉センター「やまぼうし」

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	クラスや利用人数によって、1~2部屋を利用して環境設定、スペース確保に努めている。 はい 88.2% どちらともいえない 2.9% いいえ 0% わからない 5.9% 未回答 2.9%	
	2	職員の適切な配置	定められた規定数以上に配置している。 はい 97.1% どちらともいえない 0% いいえ 0% わからない 2.9% 未回答 0%	
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	各クラスごとに、机等の配置設定を変える等の工夫や、スケジュールボードなどの視覚支援をしている。 はい 91.2% どちらともいえない 2.9% いいえ 0% わからない 5.9% 未回答 0%	
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃に加えて、玩具、物品は毎回使用後に消毒をしている。また、コロナ感染予防対策としてクリアパーティションの設置、換気、利用者および付き添いの保護者様の検温を徹底している。 はい 94.1% どちらともいえない 0% いいえ 0% わからない 5.9% 未回答 0%	
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	クラス開始3か月での中間カンファレンスの実施や、定期的な振り返りを実施している。	
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	定期的にも職種での振り返りを実施し、リハビリ専門職の他部署からの評価や意見交換の場を設けている。	
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修への参加(オンライン含む)や、施設内研修等に参加をしている。	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	医師による診察や心理士による発達検査等からも情報共有し、それぞれの計画作成をしている。 はい 97.1% どちらともいえない 2.9% いいえ 0% わからない 0% 未回答 0%	
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	それぞれの利用者様の課題や保護者様のニーズに基づいてクラス編成をし、クラスごとに個別と集団での活動の量を調整している。	
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	それぞれの利用者様の課題や保護者様のニーズ確認をしたうえで、項目や支援方法を設定している。 はい 97.1% どちらともいえない 2.9% いいえ 0% わからない 0% 未回答 0%	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援目標、支援計画に沿って、プログラムを実施している。 はい 100% どちらともいえない 0% いいえ 0% わからない 0% 未回答 0%	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎回、クラス前に支援者全員でのプログラム提供方法等の確認をしている。また、プログラム立案は、随時複数の支援者で検討、立案している。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、長期休暇中の開室をしている。長期休暇時には特別プログラムを立案し、提供している。	今後、利用者様のニーズに応じて休日の開室や、長期休暇時の開室時間の拡大等、検討していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎月のおたより作成や6か月ごとの評価時に利用者様の課題に沿ったプログラムであるかをカンファレンス等にて検討している。 はい 97.1% どちらともいえない 0% いいえ 0% わからない 2.9% 未回答 0%	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎回のクラス前の支援者全員での打ち合わせにて、利用者様の様子や支援者の配置等の情報共有をしている。	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎回の終了後に、多職種での振り返りと記録をし、情報共有に努めている。	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎回のクラスでの姿や保護者様からの情報等は統一した用紙に記録していくことを丁寧にやっている。	
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	計画立案から3か月での中間カンファレンスや保護者様へのモニタリングの実施をしている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	サービス担当者会議が設定されれば、参加意向あり。数名の利用者様のサービス担当者会議の参加実績もあり。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて、情報共有等の実施。 新型コロナウイルス感染症対策の観点より、利用者様の通園している幼稚園等の先生の見学は、中止している。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	必要に応じて、情報共有等の実施。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	随時の研修受講等、専門機関との情報共有や連携に努めている。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	当該事業所を利用している児童は、地域での保育所や幼稚園、学校を利用しており、地域交流はできていることから、改めて地域交流の活動を筆頭に考えているわけではない。時に、当センター近くの農園活動や保育実習生等、職員以外の人と関わる場は設けている。	はい 26.5% どちらともいえない 2.9% いいえ 26.5% わからない 41.2% 未回答 2.9%	農園活動では、緑地課の職員の話聞くなど、地域の人との関わりや社会性を高められる経験に繋がりました。今後も継続します。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ感染予防対策として招待等は自粛している。		
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	個別で場所を設け、療育開始前に説明している。	はい 97.1% どちらともいえない 2.9% いいえ 0% わからない 0% 未回答 0%	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	ソーシャルディスタンスの観点から、計画書お渡し時は、相談がある場合のみ随時、個別対応をしている。評価お渡し時は、感染対策をして、面談実施。	はい 100% どちらともいえない 0% いいえ 0% わからない 0% 未回答 0%	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	随時、療育での様子や関わり方について保護者様にお伝えし、日常生活での対応に活かせるように工夫しています。また保護者懇親会の中で、保護者向け勉強会の時間を設けている。	はい 55.9% どちらともいえない 14.7% いいえ 5.9% わからない 23.5% 未回答 0%	ペアレントプログラムは実施済。継続的に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策として、中止しています。今後も感染症の状況を鑑みながら、検討します。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	随時、療育での様子や関わり方について保護者様にお伝えし、日常生活での対応に活かせるように工夫しています。	はい 91.2% どちらともいえない 8.8% いいえ 0% わからない 0% 未回答 0%	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	毎回の来所時に、日常での様子についても聞き、必要に応じて個別で対応している。	はい 85.3% どちらともいえない 8.8% いいえ 0% わからない 5.9% 未回答 0%	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ感染予防対策をしながら、年2回の保護者懇親会をクラスごとに実施。勉強会的内容が多いため、保護者にとって保護者会ではなく勉強会として捉えている様子。	はい 44.1% どちらともいえない 14.7% いいえ 14.7% わからない 26.5% 未回答 0%	勉強会のみならず、保護者同士の連携に繋がるように保護者懇親会の内容を工夫をしていきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	当センターでの苦情受付窓口設置あり。	はい 64.7% どちらともいえない 0% いいえ 0% わからない 29.4% 未回答 5.9%	今後も、当センターに苦情受付窓口の設置があることを周知し、適切に対応できるようにします。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	情報伝達の際には、それぞれの利用者様や保護者様、家族構成等にも配慮をしている。	はい 91.2% どちらともいえない 2.9% いいえ 0% わからない 2.9% 未回答 2.9%	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	各クラスごとに毎月おたよりを作成、配布し、活動中の様子や今後のプログラムの共有をしている。また、年2～3回、HPに通信を掲載している。	はい 76.5% どちらともいえない 8.8% いいえ 0% わからない 14.7% 未回答 0%	通信をHPへ掲載した際には、保護者の方へ周知し、情報発信を確認していただけるようにします。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	当センターでの取り扱い方に準じ、取り扱いには十分に配慮をしている。	はい 100% どちらともいえない 0% いいえ 0% わからない 0% 未回答 0%	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	当センター全体のマニュアルあり。それぞれのマニュアルに準じ、各部署の内容に応じて周知徹底に努めている。勉強会等の機会に保護者様に紹介している。	はい 88.2% どちらともいえない 5.9% いいえ 0% わからない 5.9% 未回答 0%	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	各クラスにて避難訓練を実施。保護者様にも引き取り訓練、緊急時連絡方法の再確認も行っている。	はい 88.2% どちらともいえない 0% いいえ 2.9% わからない 0% 未回答 0%	
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	研修機会の確保、対応について徹底している。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、対象となる方はおられないが、必要に応じて保護者様への確認、記載をしている。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	当センターでの医療カルテ、担当医師との情報共有に加え、保護者様には実際の食べ物や環境設定等についての確認も行っている。保護者様に記入いただき、紙面にて再確認をしている。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	当センターでのマニュアルに準じ、周知徹底にも努めている。		